

## エチオピア月報(2016年9月)

### 主な出来事

#### 【内政】

- 3日: アディスアベバ郊外のキリント刑務所で火災発生、23名の入所者が死亡。
- 20日: オロモ人民民主党(OPDO)は、Lemma Megersa 及び Workneh Gebeyahu をそれぞれ党首及び副党首に選出。

#### 【外政】

- 9日: ハイレマリアム首相、タバン・デン・ガイ南スーダン第一副大統領と二国間関係及び地域の課題につき議論。

#### 【経済】

- (日時不明) 8月の消費者物価指数は前年同月比5.9%の上昇となり、2014年11月以来21ヶ月ぶりの低水準となった。

#### 【内政】

- 3日、アディスアベバ郊外のキリント刑務所で火災が発生、23名の入所者が死亡した。(6日、EBC)
- 10日、エチオピア新年に際し、政府は707名に恩赦を与えた。(10日、EBC)
- 20日、与党 EPRDF を構成する政党の一つであるオロモ人民民主党(OPDO)は、Lemma Megersa 及び Workneh Gebeyahu(運輸大臣)をそれぞれ党首及び副党首に選出した。(21日、EBC)

#### 【外政】

- 9日、ハイレマリアム首相は、タバン・デン・ガイ南スーダン第一副大統領と面会し、二国間及び地域の課題につき議論した。(10日、EBC、ENA)
- 9日、テドロス外相は、オスマン・シンガポール外務上級副大臣兼防衛大臣と面会した。(9日、外務省)
- 16日、タイエ外務省国務大臣は、マクドナルド英国外務・英連邦省事務次官と面会し、ソマリアにおける平和構築及び現在のエチオピア情勢につき議論した。(16日、外務省)
- 29日、ライチャーク・スロバキア副首相兼外務・欧州問題担当大臣がエチオピアを公式訪問し、ムラトゥ大統領、テドロス外相らと会談した。(29日、外務省)

#### 【経済】

1. 経済全般・財政・金融

- (日時不明) 8月の消費者物価指数は前年同月比 5.9%の上昇となり、2014年11月以来21ヶ月ぶりの低水準となった。(11日、Fortune)
- (日時不明) 世界経済フォーラムが国際競争力レポートによると、エチオピアは138ヶ国中109位の3.77ポイントなり、「安定的」の評価を維持した。(29日、The Daily Monitor)

## 2. 貿易、投資、ビジネス

- (日時不明) 朱小丹 中国広東省長は、ハイレマリアム首相と会談し、建設、インフラ開発、軽工業の分野で広東省から投資を呼び込むことを表明した。(1日、The Ethiopian Herald)
- (日時不明) 化学製品の輸入販売を行う国内企業の Eureka Industrial supplies 社がアディスアベバ近郊に5000万ブルで化学工場を設立する旨表明した。(10日、The Reporter)
- (日時不明) インドを拠点とする Global Hospital Group が2億米ドルを投じて最先端の機器と500床のベッドを備えた三次医療施設建設を計画中である旨発表した。(10日、The Reporter)
- (日時不明) 世界銀行グループが毎年発表している報告書「ビジネス環境の現状」の最新版「Doing Business 2016: Measuring Quality and Efficiency」によると、エチオピアのビジネス環境が189ヶ国中148位と評価された。(11日、The Capital)
- (日時不明) アルミ製品を製造・販売を行う国内企業 B&C Aluminum 社がスーダン企業と契約し、国内初のアルミ製品輸出企業となる。(18日、Fortune)

## 3. エネルギー

- (日時不明) 水・灌漑・電力省のエネルギー主任分析官によると、新たな再生可能エネルギー開発への投資を続け、エチオピア国内の発電能力を2014年度の9,515GWhから2024年度までに77,343GWhに引き上げると述べた。(4日、The Ethiopian Herald)
- 9日、テドロス外相は、クリスチャン・ライト Globeleq 東アフリカ地域ビジネス開発担当代表と面会し、クリーン・エネルギーへの投資につき議論した。(9日、外務省)
- (日時不明) Gibe III ダムの水力発電所から国内送電網への送電線が完成したと水・灌漑・電力省が発表した。(13日、The Ethiopian Herald)

## 4. 工業・運輸

- 7日、エチオピアとスイスの間で、民間航空協定が締結された。(7日、EBC)
- (日時不明) アディスアベバ・ジブチ鉄道の試験運転成功を中国鉄道グループが発表した。(10日、The Ethiopian Herald)
- 11日より、836台のメータータクシーが運行を開始する。連邦運輸局によると、今後さらに327台のメータータクシーを地方に導入する予定。(10日、The Ethiopian Herald)
- (日時不明) 砂糖の需要拡大から、国内で新たに10の製糖工場が建設中であり、完成後は1日3250tの砂糖を生産し、国内の砂糖生産能力が2倍になるとの見込み。このうち、

Kessem、Arjo Dedassa、Tendaho の工場は既に完成し、試運転を行っている。(13 日、The Ethiopian Herald)

#### 5. その他

- (日時不明) エチオピア知的財産権庁は 国外知的財産の保護に関する4つの法案を閣議に提出した。(4日、Capital)
- 8日、鈴木大使は、離任に際し、テドロス外相を表敬し、日エチオピア関係は協力範囲の拡大という新たな時代に入り、日本企業は製造業、地熱発電などあらゆる分野での投資を熱望している旨述べた。(10日、The Ethiopian Herald)

#### 6. 各国動向

- (日時不明) 政府と人権保護団体は干ばつ被害を受けた970万人への援助のため、さらに61.2億米ドルが必要である旨発表した。(19日、The Daily Monitor)
- (日時不明) 国連高等難民弁務官事務所 (UNHCR) は、南スーダンにおける戦闘の再開を受けて、エチオピアに越境する難民が増加しており、9月3日以降29,769人がガンベラ州に避難中である旨述べた。(30日、The Daily Monitor)